

海外 其後の引揚げ状況は

磐城聯盟での調査から見る

陸境と通つて来る引揚者の群は市内だけでも一日平均一、二人の割合で驛前休憩所に訪れる。市内引揚者も八月十五日現在で八百六名に達し、未帰還軍人軍属でも四百八名とある。引揚者数を加へると磐城市内だけでも千を越える。可愛い父や子を持ちあひびる各家庭の留守相當者の多くは、父の居ない、兄の居ない家庭で其の日の生活に端を以て居るが、何時になつたら歸つて来るか、あちらの様子を食糧は、待遇はと訴へるには自然隣組同志の茶話に咲く、何處で来たら一番早く分るかの問ひに答へて、法成以來市社會議に於いて見知らぬ同胞の援護に、再起に、懸命に奔走してゐる引揚者磐城聯盟に最近の引揚げ状況を聞いて見る。

北鮮・千島・樺太は依然引揚げ不許可

滿洲方面の現況と見透し

最近博多の引揚援護局に入つた情報に依ると、滿洲方面の引揚げ状況は次の様です

▼引揚完了地区 ▲錦西、新民、鐵嶺、大連、撫順、本溪湖、開原、海城、大石橋、營口、蓋平、遼陽、四平街

▼引揚實施中地区 ▲奉天、長春、鞍山、公主嶺

▼引揚準備中地区 ▲吉林

▼引揚未定地区 ▲ハルビン、牡丹江、チチハル、安東

尙東亞諸地域の殘留邦人数は七月末現在で終戦連絡事務局の調査に依ると次の如き状況にある

▼八月中に引揚完了豫定の地域 ▲ジャワ—四萬五千名、スマトラ八萬名、ビルマ六萬四千名

▼一應引揚を完了した地域 ▲臺灣三萬二千名、華北六千名、華中三千名、華南千五百名、佛印千二百名、ポルネオ二千名、セレベス四

百六十名、小スンダ三千三百名、ニューギニア一萬七千三百名、ラバウル二千名

▼一時配船を停止された地域 ▲比島六萬六千名、中部太平洋一萬一千名、沖繩一萬一千名(軍人關係のみで月に千名)

▲お買物は皆様の 化粧品、固型洗剤、京人形、甘味料、小間物、各種雜貨

▼樂器部新設 ▲中四丁目 やまよし 電話二六八

▲良い品を安く仕入れて安く賣りませう

安値自慢 平市六丁目大通 百貨卸賣 さかいや商店

二、三度の臨時配船がある

▼引揚時期の不明な地域 ▲滿洲百五十一萬名(一般人八十三萬六千名)、千島五萬八千名(一般人一萬四千名)、樺太三十一萬九千名(一般人三十萬名)、北鮮十五萬五千名(一般七萬五千名)

以上の地域では陸軍關係の大部分はシベリヤに移送された模様で、千島、樺太、北鮮からの引揚げは依然許可されず、滿洲からの引揚げ打切時期も未だ正式の連絡がない

はれ流の物 お百姓さんへ

履物から覗く世相の様々

二十一日午後一時 半頃の曇り真ッ密

り！場所は本社前 この暑いのには、一番目につくのは何んと云つてもゴム長靴

▼ズック六、▼地下足袋七、▼裸足一

▼魚の鬚(ひも)もあるまいに！

▼下駄二九、▼短靴二四、▼長靴三三、▼編上靴六、▼ゴム長靴三、▼藁草履三、

▼ゴム長靴三、▼藁草履三、

▼ゴム長靴三、▼藁草履三、

開

投票を歓迎す 要望批判結構 紙上匿名可

公選に就いて

▼現地方制度下に行なはれる市町村長の公選は、現地方制度下に市町村會の持つ市町村長の推薦権を市町村民に譲渡するといふ形式のもとに、公選内規を市町村民の公約として行なはれるために色々な事態の發生する余地が残るのである

▼従つて、公選の成功不成功は公約された内規を尊重の精神の輕重に左右されることが非常に大きいのである。殊に湯本町後任町長推薦に當つて直接公選結果である

に於ける公選内規の、内規としての方法を採つたことは社會意志が、投票数が總有権者数の五〇以下なるときは立候補者が町民の過半数の信頼をもち存在として選挙事務を無効にするものと選挙事務に依つて構成され、これ等が候補者の数の大すれば以上の選挙定義に災され、小に依つて選挙内容に競争が加はると觀察されるであろう

▼管理委員會は町會を開き、公選の徹底を企む、回覽板によつて選挙場、日時等を示し、公選された内規を遵守し選挙事務を處理した点に對して、選挙は選挙の猛烈なる自覺意志に依つて決定されるものである

(湯本町小野英二郎)

青春

吉田利雄

舟田信二は、三ヶ月前ビルマから復員したばかりである。舟田は此の頃ひとりでニッポンの街を歩いた。大勢の歌を唄つた。舟田はこれを彼女と呼んでゐる。舟田は、大きな差がある。舟田は、此の舟田の心の變化にアゼンたるイである。舟田は二十五歳五尺三寸五分、体重六〇キログラムの心算の男子だ。

舟田が復員する一ヶ月前に、「そよかぜ」と云ふ歌が来た。舟田は、その時、並木路子といふ娘がリンゴの歌を唄つて、大勢の歌を唄つた。舟田は、此のリンゴの歌を愛する。舟田が、何ぞにこの歌を愛するかと云ふのは、次の様なワケがある。

舟田は、市内の〇〇工場に通ひ始めてから一ヶ月半位になる。舟田は、白銀町の〇〇洋服店の前を歩いて、遠く女がゐる。舟田は、これを彼女と呼んでゐる。舟田は、今云ふ並木路子の心算の男子だ。

舟田は、彼女に戀を感した。舟田は、彼女に、オサエがたひものになつてしまつた。舟田は、カンゼンに戀のトリコになつてしまつた。

愛情とは、心の歴史だ。何の本で讀んだ事があるか、事實そのものである。舟田は、信二が、彼女も亦舟田に好意の視線を送る様になつてゐたから。舟田の歸りが遅かつたり、日曜日も知らず、舟田は何を話したのか、体内を駆けめぐらるのを感じた。

舟田は、彼女に、オサエがたひものになつてしまつた。舟田は、カンゼンに戀のトリコになつてしまつた。

愛情とは、心の歴史だ。何の本で讀んだ事があるか、事實そのものである。舟田は、信二が、彼女も亦舟田に好意の視線を送る様になつてゐたから。舟田の歸りが遅かつたり、日曜日も知らず、舟田は何を話したのか、体内を駆けめぐらるのを感じた。

舟田は、彼女に、オサエがたひものになつてしまつた。舟田は、カンゼンに戀のトリコになつてしまつた。

愛情とは、心の歴史だ。何の本で讀んだ事があるか、事實そのものである。舟田は、信二が、彼女も亦舟田に好意の視線を送る様になつてゐたから。舟田の歸りが遅かつたり、日曜日も知らず、舟田は何を話したのか、体内を駆けめぐらるのを感じた。

舟田は、彼女に、オサエがたひものになつてしまつた。舟田は、カンゼンに戀のトリコになつてしまつた。

愛情とは、心の歴史だ。何の本で讀んだ事があるか、事實そのものである。舟田は、信二が、彼女も亦舟田に好意の視線を送る様になつてゐたから。舟田の歸りが遅かつたり、日曜日も知らず、舟田は何を話したのか、体内を駆けめぐらるのを感じた。

歌短

諸橋富彌

右りなすののかたゆ雲舞れて 夕光は直に沖の秀に染む

緒結び洲に坐す船の舷に寄る 漣の音もそぞろ秋めきて

風立は濱のなぞに臥すかたへ 防風にはら、砂の叩つ

音

佗びてもとな夏のころは暮れ しのこる瀟瀟豆の花にやりつつ

渡邊七郎

大酒倉漏れ雨句へる醒し樽 最寄き走る葉はか黒し

桐咲きの葉中ゆ三人四人 過ぎゆくみれば風強からし

志

生きの身のわれを嘆かふこの 夢はもえ紅蓮の炎ともなれ

悔多き其の日ぐらしのあけく れは頼り難きにすがりつつ

生

ひさびさに帯などしめて粧ひ ぬ女てふことの小さき幸かな

な

いたましき七夕の夜や短冊の 墨にじませて細雨の降る

苑

白花崗石

板石各種

建築用土木用

間知石 一五 相當敷

右御注文ニ應ズ

田村郡瀧根町神保町前

白石事業部

連絡事務所

白石 源一

電話瀧根局

吉田 基

小名瀧町西町

電話八九

熟練工 若干名

見習工 若干名

見習は十四、五才の方

自轉車、リヤカー組立並に

エヤー吹付コンプレッサ

◆本人御來談を乞ふ

吉田自轉車商會

寫眞の御用

新装のスタジオが皆様を

お待ちして居ります

小名瀧町本町

助川寫眞スタジオ

セメント瓦

製造法に應じます

五馬力粉砕混合機あり

古いカクマリセメント

御持下さい交換致します

大浦村上井仁田

(四倉驛ヨリ約七丁)

合名 大谷建材店

大谷 文夫

御注文ノ際ハ御一報下サイ

係員參上シマス